

# 労災だより

2019-May

No. 13

## 横浜労災病院 膵臓がん早期診断プロジェクト

膵臓がん早期診断プロジェクトを立ち上げました。

消化器内科副部長 関野 雄典

今回、地域の先生方と共同して膵臓がん発症リスクの高い患者さんを拾い上げ、情報の共有を行いつつ根治可能な早期がんの状態膵臓がんを発見、克服することを目的に、横浜労災病院 膵臓がん早期診断プロジェクトを立ち上げました。



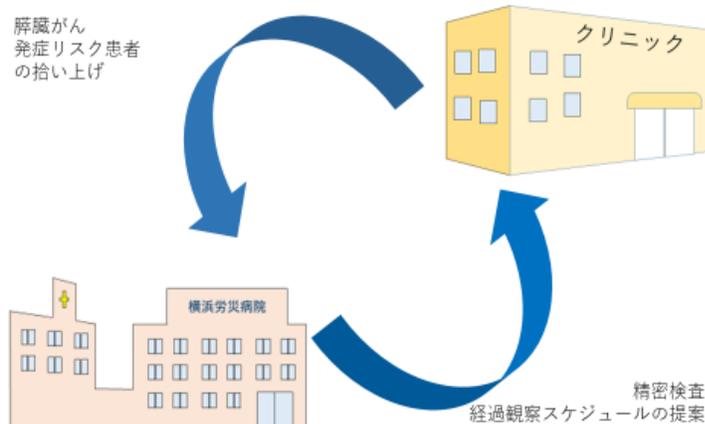
2018年9月に国立がん研究センターから発表された、2011年がん診療連携拠点病院等院内がん登録データを用いた3年生存率において、膵臓がんは全体で15.1%と最も低く、予後は非常に厳しいことが報告されております。膵臓がんの治療成績が上がっていない最大の原因は**早期発見の難しさ**です。2007年に日本膵臓学会から報告されたStage0の5年生存率は85.8%であり、早い段階での診断が予後の改善の最大の鍵ですが、膵臓がんは発症早期においては無症状であること、膵臓が後腹膜に位置し、周囲臓器や脈管へ浸潤しやすいことなどが要因となり、Stage0の患者は**全体の1.7%**と**早期診断は容易ではありません**。そこで、当科では新たに「膵臓がん早期診断プロジェクト」を発足致しました。このプロジェクトは**地域の先生方との病診連携を通して、膵臓がんを疑うサインが発見された場合に、直ちに精密検査を行って適切な診断を行うもの**です。

### 膵臓がん発症リスクと考えられる項目

#### ・症状

原因のはっきりしない腹痛、背部痛、  
食欲不振、早期飽満感（食事中すぐにお腹がいっぱいになって食べられない）、  
黄疸、体重減少

### 横浜労災病院 膵臓がん早期診断プロジェクト



## ・糖尿病

特に診断から3年以内の方、急な増悪を認める方

## ・血液検査

膵酵素異常（アミラーゼ、リパーゼ）、膵腫瘍マーカー異常（CA19-9、CEA、Duan- II、Span- I、エラスターゼ I）

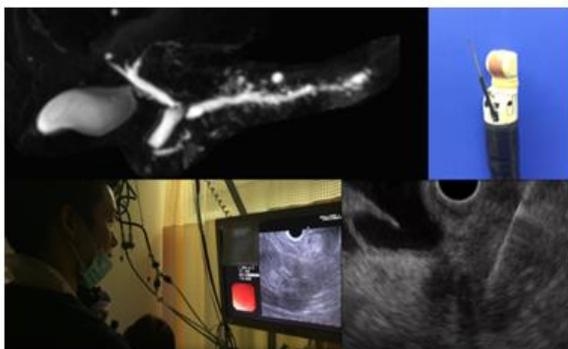
## ・画像検査

膵のう胞、膵管拡張（3mm 以上）、膵腫瘍、膵石灰化、胆管拡張

## ・患者背景

膵臓がんの家族歴、慢性膵炎、原因不明の急性膵炎、肥満（昔肥満であった方を含む）  
飲酒、喫煙

具体的には、上記に示すような膵臓がん発症のリスクファクターを有する患者さんを積極的にご紹介頂き、MRI および EUS での精密検査を行っていきます。特に、早期膵臓がんの発見に必須である EUS 検査は、内視鏡医の技量によるところが大きいがネックとされていますが、当科では年間 700 件を超える症例数を扱っており、私達が皆様のお役に立てる分野であると自負しております。治療の必要がある病変が発見された場合は引き続き、消化器内科、外科、腫瘍科を中心とした集学的治療を行ってまいります。



MRCPCで膵管異常などの間接所見を拾い上げ、  
EUSで腫瘍を直接同定、  
EUS-FNA(超音波内視鏡下吸引針生検)に  
よって病理診断を行っていきます。

また、このプロジェクトの最大の特徴は、**地域の先生方と連携して経過観察を行っていく**ことです。当科において膵臓がん発症リスクを評価し、リスクに応じた検査スケジュールを提案させていただきます。**先生方と我々で共同して検査スケジュールを管理しながら経過観察を行う**ことで、膵臓がんを疑うサインを早期に拾い上げることを目的としています。今後とも地域の先生方のお力をお借りしつつ、地域市民の膵臓がんの早期発見に役立て、治療成績の向上に繋げて参りたいと考えております。

上記の様な膵臓がん発症リスクを有する患者さんがいらっしゃいましたら、是非当科までご紹介頂ければ幸いです。ご不明な点や緊急を要する方の場合には直接お電話での問い合わせでも構いません。よろしくお願いいたします。

**膵臓がん早期診断プロジェクトは、毎日 10:00～ の紹介予約枠で対応しています。**

## ・登録医療機関からのご紹介の場合

地域医療連携室で承ります。診療予約専用電話を用意しておりますので、ぜひ利用ください。

登録医専用予約電話：045-474-8362（平日 8：15～19：00）

登録医専用 FAX：045-474-8344

(予約申込票を当院 HP [https://www.yokohamah.johas.go.jp/community\\_medicine/introduce/](https://www.yokohamah.johas.go.jp/community_medicine/introduce/)より印刷、使用してください。)

### ・登録医療機関以外からのご紹介の場合

登録医療機関以外からのご予約については、下記**予約センター**にてお受けしております。

電話：045-474-8882（平日 8：15～17：00）

FAX：045-474-8523（医療機関からのみ）

### ・緊急で受診が必要なご紹介の場合

当科**医師に直接**ご相談いただく場合

電話：045-474-8111（平日 8：15～17：00）に電話をし、交換手に「**救急患者紹介のため、消化器内科の本日の担当医に電話をつないで欲しい**」とお話してください。

地域医療連携室経由の場合

電話：045-474-8345（平日 8：15～17：00）に電話をし、消化器内科の早急な受診についてご相談下さい。

※いずれの場合も、円滑な追加精査のために、「**横浜労災病院 膵臓がん早期診断プロジェクト 紹介状資料（添付資料・ホームページご参照ください）**」をご持参頂く様、お願いいたします。  
貴院紹介状と併用される場合は、併存疾患や常用薬など重複する項目は「別紙参照」など省略していただいて構いません。

## 横浜労災病院 こどもセンターの紹介

### 新生児内科部長に就任いたしました。

消新生児内科部長 堀口 晴子

はじめまして。4月より新生児内科部長に就任いたしました堀口晴子と申します。出身大学は横浜市立大学です。神奈川県立こども医療センターのジュニアレジデントとして初期研修を受けた後、横浜市立大学小児科学教室に入局いたしました。新生児医療に興味があり、入局後は新生児医療に関わる病院に勤務してまいりました。

前任の飛騨先生の退職にともなって横浜労災病院のNICUが休止状態になっていたことは、**神奈川県の周産期システム**にとっても大きな痛手でありました。この

度、西先生と共にこの病院に派遣されることとなり、身の引き締まる思いであります。大変熱意を持ってお仕事をされていた飛騨先生に及ぶとは思っておりませんが、この病院の**NICUが以前と同様に稼働できるために力を注ぐ所存です。**

至らない点も多く、皆さまにご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



## 外科的処置が必要かどうか迷う症例でも一度小児外科へご紹介ください。

小児外科医師 大野 幸恵

小児外科はこどもセンターの1部門として2015年に開設されました。小児科、新生児科、外科などの他科とも連携し、検査・手術・入院治療を行っております。

昨年9月以降常勤医の産休のため診療を週1日に制限していましたが、2019年4月より外来診療は月曜、火曜、水曜の週3日に拡大し、新患の予約も取得しやすくなりました。また、**緊急手術が必要になる可能性のある場合には常時対応いたします。**手術は鼠径ヘルニア、停留精巣、臍ヘルニアや急性虫垂炎といった小児外科の主要疾患を中心に行い、適応症例には腹腔鏡手術にも対応しています。

今年度より常勤医に加え小児外科指導医の派遣が始まり、体制がより整いました。小児外科で扱う疾患は多岐にわたりますので、外科的処置が必要かどうか迷う症例でも一度ご紹介いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



## こどもセンターの体制が整いました。

副院長・こどもセンター長 城 裕之

当院こどもセンターは、小児科、新生児内科、小児外科の3部門で構成されています。なかでも、新生児内科はNICU9床、GCU12床、合計21床を運用、**横浜市周産期医療中核施設**として多くの未熟児・新生児の診療を行っており、特に**重症仮死児**が出生した際に行う**脳低体温療法**の実施件数は、神奈川県下でもトップクラスに入る実績を有しています。

本年4月より、堀口晴子新生児内科部長と西大介同副部長を新たに迎え、新生児の受け入れ条件を、**在胎30週以降（母体搬送としては在胎29週以降）**に戻し、さらに、今後院内の受け入れ体制が整い次第、**在胎26週以降へとする**予定となっています。

分娩を扱う医療機関の皆様には、母体搬送ならびに新生児搬送につきまして、これまでと同様に御紹介頂きますようよろしくお願い申し上げます。



登録医予約専用電話 ☎ 045-474-8362（直通）（受付時間 8:15～19:00）

～登録医療機関の皆様へ～当院への患者さんのご紹介は上記までご連絡下さい。